自民党 県会報告

第208号

12月県議会 定例会

会期 12月11日(月)～12月26日(火)

改選後初の県議会開会!

12月定例会は12月11日から12月26日までの16日間の日程で開会され、令和5年度一般会計補正予算や、県政当面の重要な案件について審議し、条例や意見書など121件を可決いたしました。自民党議員会からは、代表質問1名、一般質問5名が登壇し、復興財源の確保や、地域防災力の更なる強化に向けた取組についてただしました。



一般会計補正予算の主な内容については以下の通りです。

令和5年度一般会計補正予算　463億6,200万円

【主な内容】

■ **台風第13号に伴う大雨災害への対応（5億1,981万円）**
- 中小企業等の施設・設備復旧支援（3億3,850万円）

■ **原油価格・物価高騰等への対応（65億8,370万円）**
- LPガス使用世帯等への支援（12億4,763万円）
- 医療機関や薬局等への支援（14億7,738万円）
- 社会福祉施設等事業者への支援（11億7,331万円）
- 観光需要の喚起を通じた地域観光事業者への支援（11億9,000万円）

■ **交付金事業〈道路〉（41億408万円）**

■ **交付金事業〈河川〉（49億5,600万円）**

自民党議員会が提出し可決した意見書

- 私学助成の充実強化等を求める意見書
- 福島の復興・再生について中長期的な対応を求める意見書
- 国民医療を守り国民の健康を守る体制のための持続的な財源確保を求める意見書

議会の構成が変わりました

県議会の改選に伴い、議会の構成が変わりました。改選後初めての12月定例会において、新議長に自民党議員会の**西山尚利**議員、新副議長に**山田平四郎**議員が選出されました。

また、自民党議員会の会長に**太田光秋**議員、副会長に**渡辺義信**議員、幹事長に**矢吹貢一**議員、総務会長に**佐藤雅裕**議員、政務調査会長に**鈴木智**議員がそれぞれ就きました。



▲西山尚利議長



▲山田平四郎副議長

12月定例会設置の調査特別委員会

少子高齢化・地域活性化対策特別委員会	副委員長	江花　圭司議員
	理　事	高宮　光敏議員
避難地域復興・産業振興対策特別委員会	委員長	長尾トモ子議員
	副委員長	佐々木恵寿議員
地球温暖化・災害に強い県づくり対策特別委員会	委員長	佐藤　政隆議員
	副委員長	鈴木　優樹議員

12月定例会では、重要な課題について取り組む、調査特別委員会が設置されました。

新・所属委員会

◎委員長　○副委員長

常任委員会

総務	企画環境	福祉公安	商労文教	農林水産	土木
◎高宮光敏	◎山口信雄	○渡邊哲也	◎佐藤郁雄	◎水野　透	◎佐藤義憲
○渡辺康平	○山内　長	佐藤憲保	○鈴木優樹	○佐藤徹哉	○佐々木恵寿
渡辺義信	長尾トモ子	山田平四郎	太田光秋	満山喜一	矢吹貢一
江花圭司	佐藤雅裕	鈴木　智	佐藤政隆	木村謙一郎	先崎温容
	佐々木　彰	宮川政夫	誉田憲孝		石井信夫

議会運営委員会

◎先崎温容
佐藤雅裕
鈴木　智
佐々木彰
渡邊哲也
山内　長

代表質問（令和5年12月14日）



自民党議員会を代表して、**矢吹貢一幹事長**（いわき市選出）が登壇し、代表質問を行いました。

Q 福島ロボットテストフィールドの今後の在り方について知事の考えを尋ねたい

A 内堀知事

環境創造センターに入居している日本原子力研究開発機構 廃炉環境国際共同研究センター等のF-REIへの統合が、令和7年4月に予定されていることなども念頭に、福島ロボットテストフィールドが我が国のロボット関連産業をけん引し、世界に誇れる中核拠点となるよう、様々な観点から議論を行いながら、F-REIへの統合について検討を進めていく。

Q 海外での本県への理解促進に向け、どのように情報発信していくのか

A 生活環境部長

海外での本県への理解促進について、復興の姿や魅力を実際に来て、見て、感じていただくことが有効であることから、来月には、外国人インフルエンサーや英国の自治体職員、在外県人会の若手会員を本県に招へいすることとしており、引き続き、海外の方々に福島の正確な情報が伝わるよう、効果的な情報発信に取り組む。

Q 地域防災力の更なる強化にどのように取り組んでいくのか

A 内堀知事

10月には、県と県内全市町村が災害時相互応援協定を締結し、災害対応を迅速に実施できるよう体制を整備した。今後、災害の経験や教訓を次の世代に継承しながら、自助・共助・公助が一体となった防災対策を推進するため、県民や自主防災組織、事業者、市町村、県等の役割や取り組むべき基本的事項を定めた新たな条例の制定に向けた検討を進める。災害に強い県づくりの推進に向け、市町村等と連携し、地域防災力の更なる強化にしっかりと取り組む。

Q 東日本大震災・原子力災害伝承館の利用促進にどのように取り組んでいくのか

A 文化スポーツ局長

伝承館の利用促進については、避難指示の解除が進む町村のパネル展など多様な展示に取り組み、来館人数が目標を上回り、先月、累計25万人を超えた。今後も、兵庫県の人と防災未来センターなど県外の伝承施設等と連携した特別展を開催するなど、国内外の多くの方々が学ぶことができる「知の交流拠点」として、伝承館の更なる利用促進に取り組む。

各団体との政策懇談会を実施

自民党議員会は、支援友好団体との政策懇談会を実施しました。各団体の皆様が抱える様々な課題や要望事項を拝聴し、県政に反映するべく活発な意見交換が行われました。

これからも各団体皆様のご要望が実現できるよう努力してまいります。

福島県商工会連合会様との懇談の様子▶



発行　自由民主党 福島県議会議員会 ／ 住所　福島市中町1-19 ／ TEL　024-523-2310 ／ E-mail　fukusima@pf.jimin.or.jp

ふくしま自民党　検索　最新情報をLINEでお届けします!